



市民病院

ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

小学生病院体験ツアーを開催しました

今年度も小学生病院体験ツアーを7月31日(木)に開催しました。内容は、右表の通りです。病院内のさまざまな仕事を少しずつ体験してもらいました。

「お医者さんになりたい」「看護師さんになりたい」という小学生の夢のお手伝いができたでしょうか。

将来一緒に働けることを願っています。ご参加ありがとうございました。



担当	体験内容
栄養室	治療食体験
臨床工学士	心電図モニター体験
看護師	A E D体験
薬剤師	調剤体験
歯科衛生士	歯垢除去体験
診療放射線技師	C T体験、胃透視実験
理学療法士	革細工体験、車いす体験
臨床検査技師	心臓超音波検査体験
医師	電気メス体験

来年度は7月29日(水)に開催予定です。お楽しみに。

碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

NO.5 新田が つくられたのはいつ?

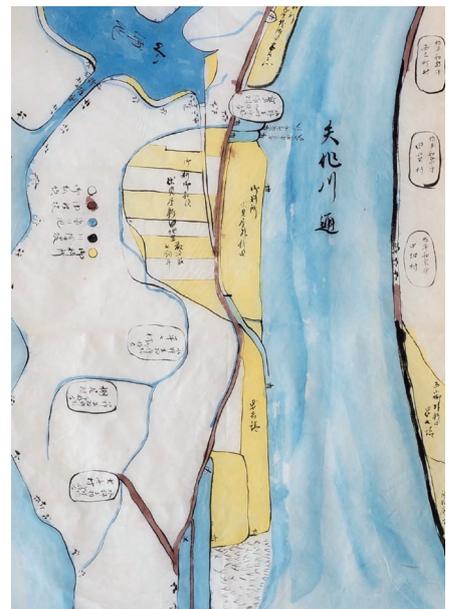
碧南市の矢作川沿いや油ヶ淵の周りには田畑が広がっています。もともとは海でしたが、1605年に矢作新川(今の矢作川)が掘られ、川によって運ばれた土砂が遠浅の海に堆積していったことから新田開発が始まります。

碧南市のおもな新田は、1663年に稲生平七郎が「平七新田」を開発したのを皮切りに、江戸の商人であった三宅(伏見屋)又兵衛が、1666年に今の油ヶ淵の周りに「池回り伏見屋新田」を、1682年には「海表伏見屋新田」を開発しました。

その後、1743年に小田甚兵衛が鷺塚村の北に「野銭新田」を、1750年には加田屋藤五郎が「伏見屋外新田」を開発しています。

さらに、広い範囲での土砂の堆積がみられた矢作川河口部では、大浜村・棚尾村が中心となって、「前浜新田」の開発に着手し、1828年に作物の試作を行っています。

なお、新田開発に関するほかの絵図などを11月8日(土)から文化会館で開催の文化財展「絵図・古地図に見る碧南の姿」で展示します。



△「油ヶ淵・矢作川通新田絵図」(部分)
(作成年不詳・碧南市所蔵)